児童・思春期精神医療入院診療計画書(医療保護入院者用)

患 者 氏 名	(男・女)	生年月日	昭和•平成		
			年 月	日生 (歳)	
診断名 (状態像名)			ICD-10(コード	潘号):	
I. 発育·社会的環境					
発達・生育歴	家族構成:	社会的環境	:	c. 職歴	
□特記事項なし	(同居家族を含む)	a. 就学状況			
□あり		b. 教育歴		d. 交友関係など	
		(最終学歴:)		
Ⅱ.入院時の状況		•			
入院年月日 平成	年月日(曜日)	入 院	□任意入院	□医療保護入院	
		形 態	□措置入院	□その他	
患者: 主					
家族 (父・母	・その他):				
特別な栄養管理の必要性	.: 有 · 無				
症状 および 問題行動	·:				
A. 行 動: a. 動 き	5:□多動 □寡動 □常同症 □指	D絶症 □奇妙7	な動作()	
b. 表	青:□不安・恐怖・心配 □憂うつ	□怒り・敵意	□無表情		
c. 話 し 方:□緘黙 □不明瞭 □吃音 □反響言語					
d. そ の 他:□睡眠障害 □食行動異常 □排泄障害 □習癖異常					
B. 情 緒:□不安定 □無感情 □怒り・敵意 □不安・恐怖・心配 □高揚 □抑うつ気分 □感情の不調和					
C. 対人関係:□ひきこも	り □自己中心的 □他罰的 □共	感性欠如			
D. 知的機能:□注意散漫	□興味限局 □記憶障害 □知的	障害 □学習((能力) 障害		
E. 意 識:□見当識障害 □意識障害					
F. 意					
G. 行 為:□自傷 □他害・暴行 □盗み □器物破損					
H. 知					
Ⅰ. 思 考:□心気症 □強迫観念・行為 □恐怖症 □自殺念慮・自殺企図 □離人体験 □病的な空想 □作為体験					
□罪業妄想 □被害・関係妄想 □その他の妄想() □連合障害					
J. そ の 他:□病識欠如 □不登校 □計画的な行動がとれない □衝動コントロールの欠如 □主体性の未確立					
具体的な事柄:					

(※) 担当者名

主治医	看護師	精神保健福祉士	臨床心理技術者	その他

Ⅲ. 治療計画		(患者氏名)	
推定される入院期間(週間/月)	基本方針:		
(うち医療保護入院に	よる入院期間:			
)			
本人の希望:		治療と検査:		
		A. 治療:		
		精神療法:		
家族の希望 :		□個人精神療法: 回/週 □集団精神療法:	回/週	
		□認知行動療法: 回/週 □生活療法:	回/週	
		薬物療法:		
目標の設定:		□抗精神病薬 □抗うつ薬 □抗躁薬 □抗不安薬		
		□抗てんかん薬 □睡眠導入剤		
		□その他()	
同意事項:		B. 検査:		
□検査	□診断の確定	理化学検査:		
□薬物療法の調整	□精神症状の改善	□血液検査 □心電図 □脳波 □X線		
□問題行動の改善	□生活リズムの改善	□CT (MRI) 検査 □その他 ()	
□家族関係の調整	□主体性の確立	心理検査:		
□社会復帰		□知能検査()	
□その他()	□性格検査()	
行動制限:□なし □	あり(電話、面会、外出	、外泊、その他) 隔離室・個室使用: □なし	□あり	
選任さ	れた退院後生活環境相談	員の氏名		
退院後の目標:	庭内適応 □復学 □就 ・の他(党 □デイケア □地域作業所 □施設入所)	
IV. 家族へのア	プローチ			
面接:		具体的アプローチ		
□家族面接: 回/週・月(□父親 □母親 □その他())				
□本人との同席面接 その他:	: 回/週・月			
C 47 IE .				

V. 学校・教育へのアプローチ

回/週・月

□家族療法:

入院中の教育的配慮:	学校への具体的アプローチ: □本人の同意 □保護者の同	意
□院内学級・院内分校への通級(学)	□担任 □養護教諭 □生徒指導担当 □その他()
□地元(原籍)校への通学 □訪問学級	□現状での問題点()
□通信教育 □その他()	□今後の方向性()

回/週・月

上記説明を受けました。 平成 年 月 日 本人サイン 保護者サイン

□その他:

(注)内容は、現時点で考えられるものであり、今後の状態の変化等に応じて変わり得るものである。 (児童・思春期精神医療入院診療計画書記載上の注意)

- 1. 入院の早い時期に、医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理技術者などの関係者が協力し、治療計画を決めること。
- 2. すみやかに、患者、保護者へ説明を行うとともに交付すること。(病状によっては、別紙2のみの交付でも可)